

2014年4月30日

1. モロッコ研修に伴うオリエンテーション

4月2日にDWSTにおいて、第3回モロッコ研修に伴う事前のオリエンテーションが開催されました。このオリエンテーションには研修生全員が参加するとともに、JICA 事務所から加藤企画調査員、エティダルセンター長も参加しました。この会合で、上村専門家はモロッコでの研修が既に3回目となり、この研修を通してスーダン人の意識が徐々に改善されていることを説明しました。同時にこれまでモロッコ側はスーダン人研修生を受け入れるために時間をかけて様々な準備をしてきたため、研修生各人がこの研修で学んだことを確実にスーダンに還元する必要があると力説しました。



2. 第3回モロッコ研修

第3回のモロッコ研修は、モロッコ南部のアガディールを拠点に、この地域で積極的に実施されている統合水資源管理、節水灌漑、下水再利用及び村落給水の現状を理解し、スーダンにこれらのノウハウを移転するために実施しました。

参加した研修生は、DWST、北部州、ナイル州、紅海州、エル・ゲジーラ州、ゲダレフ州、センナール州、白ナイル州及びカッサラ州である。この内、カッサラ州からは2名の研修生が参加し、この費用はカッサラプロジェクトが負担しました。



3. モロッコの関係機関との協議

上村専門家は2014年4月14日の午後2時に日本大使館を訪問し、第3回のモロッコ研修及びモロッコとスーダンの水分野における南南協力の重要性に関するプレゼンテーションを行いました。この協議には黒川大使、生駒一等書記官、庄司 JICA 所長及び佐野企画調査員が参加しました。黒川大使は JICA のアフリカ部長時代にスーダンを2回訪問しておら

れ、スーダン国民の潜在的な能力の高さや天然資源の豊富さについても十分認識しておられました。また、水分野を通じたモロッコとスーダンのさらなる連携についても高い関心を示されました。

		
ONEE との協議 (4月4日)	水省との協議 (4月14日)	黒川大使への報告後の写真

4. 北コルドファン州研修センターの開所式

本プロジェクトにおいては2013年の4月30日に北コルドファン州を含む州水公社に対して研修用機材の引き渡し式が開催されました。これらのJICAの支援に対し、北コルドファン州は既存の施設を改修した研修センターの建設計画を策定、約2年間をかけて研修センターを完成させました。そして、研修センターの開所式が2014年4月27日に開催されました。

北コルドファン州の研修センターは改修前の構造が頑丈であったため、他の州水公社のどの研修センターよりも立派な施設となっており、多機能な施設が一つの研修センター内に設置されていて、このような施設は北コルドファン州が最初です。

正面入り口には大きな立て看板が設置されており、その中央部にはJICAのロゴが大きく印刷されています。北コルドファン州のみならず研修用機材を供与したスーダン各州はJICAのロゴを必ず看板に印刷し、日本の協力に対して感謝の意を示しています。

		
研修センター入り口の様子	研修センター本館の様子	ワークショップの様子

5. 第5回ジョイントセミナー

第5回のジョイントセミナーが4月28日に北コルドファン州水公社の研修センターで開催されました。このセミナーには、北部州、ナイル州、紅海州、エル・ゲジーラ州、センナール州、北コルドファン州、南コルドファン州、北ダルフール州及びハワタプロジェクトから研修関係者が参加しました。今回のセミナーでは、事前にミニバスの使用を各州に通知したために、北部州、ナイル州、紅海州、エル・ゲジーラ州及びDWSTの関係者が同乗し、効率的な移動が実施されました。

今回のジョイントセミナーでは、これまで研修センターの活動を発表していない、北コルドファン州、北部州、ナイル州、北ダルフール州及びセンナール州の5州がそれぞれの州の水問題と研修センターの活動を報告しました。そして、北コルドファン州の研修センター長に対して、上村専門家が「ベスト研修センター賞」を授与しました。

セミナーの様子	最高研修センター賞の授与	集合写真

6. センナール州公共事業省大臣との面談

センナール州の研修センターは2012年4月に施設が完成してから、十分な維持管理や整備を実施していないために断水が2ヶ月近くも続いています。また、元の建物の構造の強度が不足していたため、センター内部の壁や床の至る所に亀裂が発生しています。

このようなセンナール州研修センターの問題点を改善するために新任の公共事業大臣と4月29日に協議をしました。この協議にはエティダルセンター長と上村専門家が出席しました。上村専門家の各種研修センターの不具合について説明を受けた大臣は早々に研修センターを訪問、問題点を改善する意向を示しました。

州公共事業大臣との協議	2012年4月に完成したにもかかわらず劣化の著しい研修センター	

7. 水質管理研修

水質管理研修が白ナイル州・センナール州においてそれぞれ5日間実施されました。白ナイル州の研修では、スーダン側スタッフ2名のうちアシスタントコースコーディネーターが結婚の為に担当者が交代となりましたが、メインコースコーディネーターが新しいアシスタントと共に研修の準備・実施業務をJICA専門家の下、実施しました。

センナール州の研修においては、前回と同じスタッフが研修実施業務を担当しました。白ナイル州同様に業務への貢献度は66%から82%へと大きく改善しました。

センナール州は前回、研修生の数が5名と少ないのが大きな課題でしたが今回はスーダン側スタッフと研修センター副長の努力により、州内の各機関からさらに5名の研修生を集め合計10名での研修実施となりました。

		
<p>セネガル州での講義状況</p>	<p>白ナイル州での実習状況</p>	<p>到達度試験の実施</p>

(略語説明)

DWSU : Drinking Water and Sanitation Unit (飲料水・衛生局)

DWST : Drinking Water and Sanitation Unit Training Center (飲料水・衛生局研修センター)